

残高が少ない時でも…

～当座借越～

講師
 粕谷和生

前回に引き続き当座預金に関する内容です。まず、小切手の不渡りについて学びます。次に当座預金の残高が少ないときでも不渡りにならない仕組みである「当座借越」について説明します。当座借越の仕組みが理解できたら、その記帳法をマスターしましょう。また、主要簿や補助簿の意味とその例についても学習します。

調べておこう・覚えておこう

小切手／当座預金／
 不渡り／当座借越

当座借越とは

小切手の金額は、小切手を振り出した人の当座預金口座から支払われることは前回学びました。ところが、その当座預金の残高よりも小切手の金額の方が大きい場合、残高不足を理由に銀行は小切手の支払いをしてくれません。これを「不渡り」といいます。

不渡りは、当座預金残高に注意していれば防ぐことはできますが、あらかじめ銀行と「当座借越」契約を結んでおけば安心です。「当座借越」とは、当座預金残高を超える金額の小切手を振り出した場合でも、一定の限度額までは自動的に借り入れができるという仕組みです。

前回さかち店長は、当座預金口座の開設をしましたが、今回は当座借越契約を結ぶために銀行を訪ねます。

Key Word：不渡り／当座借越

当座借越の記帳

当座借越の記帳には、「当座借越勘定」を用います。当座借越はいわば「いざというときの自動借入金」です。したがって、負債グループに入る勘定です。

Key Word：当座借越勘定（負債の勘定）

ポイント 当座借越 = 銀行からの自動借入金

【例】 6月12日 買掛金¥250,000の支払いとして、小切手を振り出した。このときのさかち商店の当座預金残高は¥180,000で、銀行とは¥200,000を借越限度額とする当座借越契約を結んでいる。

当座預金残高が¥180,000しかないのに¥250,000の小切手を振り出していますから、当座預金残高を超える¥70,000が当座借越（自動借入金）となります。したがって、仕訳は次のようになります。

| | |
|-----------------|------------------|
| (借) 買掛金 250,000 | (貸) 当座預金 180,000 |
| | 当座借越 70,000 |

ポイント 当座借越高 = 振り出した小切手の金額 - 当座預金残高

【例】 6月15日 売掛金¥150,000を得意先振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

この取引直前の当座借越は、貸方に¥70,000の状態です。そこに¥150,000の小切手を預け入れました。この¥150,000からまず、当座借越¥70,000が返済されます。当座借越を返済したあとは、 $¥150,000 - ¥70,000 = 80,000$ となります。これが当座預金の残高です。したがって、仕訳は次のようになります。

| | | | |
|----------|--------|---------|---------|
| (借) 当座借越 | 70,000 | (貸) 売掛金 | 150,000 |
| 当座預金 | 80,000 | | |

ポイント 当座借越がある場合は、これをまず初めに返済する

主要簿と補助簿

■当座預金出納帳

次に示す帳簿は当座預金出納帳です。この帳簿には当座取引の明細（取引先・小切手ナンバー・預入または引出理由など）が記録されます。

当座預金出納帳

南北銀行

| 平成 〇年 | 適 用 | 預 入 | 引 出 | 借 または 貸 | 残 高 |
|----------|-----------------------|---------|---------|---------------|---------|
| 6 | 1 現金を預け入れ | 200,000 | | 借 | 200,000 |
| | 5 徳島商店から仕入れ 小切手# 1 | | 100,000 | 〃 | 100,000 |
| | 10 愛媛商店の売掛金回収 | 80,000 | | 〃 | 180,000 |
| | 12 香川商店に買掛金支払い 小切手# 2 | | 250,000 | 貸 | 70,000 |
| | 15 高知商店の売掛金回収 | 150,000 | | 借 | 80,000 |
| | 20 現金を預け入れた | 200,000 | | 〃 | 280,000 |
| | 25 本月分給料支払い 小切手# 3 | | 160,000 | 〃 | 120,000 |
| | 30 次月繰越 | | 120,000 | | |
| | | 630,000 | 630,000 | | |
| 7 | 前月繰越 | 120,000 | | 借 | 120,000 |

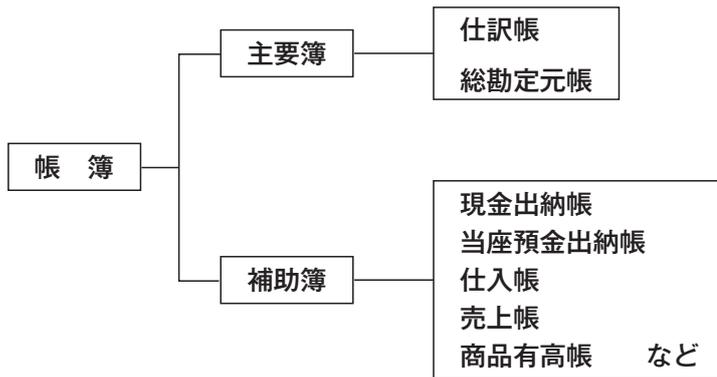
当座預金出納帳の「借または貸」欄は、当座預金残高が借方にあるのか、貸方にあるのかを示す欄です。当座預金は資産ですから、ふつう残高は借方にあるので、借方を示す「借」と記入されます。しかし、6月12日は「貸」になっています。これは当座預金が貸方残高、つまり「当座借越」になっていることを示しています。

ポイント 当座預金出納帳の「借または貸」欄が、「貸」になっていたら当座借越を表す



■主要簿と補助簿

当座預金出納帳には、当座預金に関する取引の明細が記入されるので、日付・相手勘定科目・金額しか記録されない総勘定元帳を補う（補助する）役割をもっています。このように特定の取引の明細を記録し、総勘定元帳や仕訳帳を補助する役割をもつ帳簿を「補助簿」といいます。これに対してすべての取引が記入される総勘定元帳や仕訳帳を「主要簿」といいます。



Key Word：主要簿／補助簿